

# 御前崎市立浜岡北小学校

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年6月11日(火)

## 出前授業レポート



「写真資料やレプリカでの授業ではなく、本物に触れることができたことは、子どもたちにとって大きな学びと感動体験となりました。」



御前崎市立浜岡北小学校の6年生30人が、社会科の歴史授業「昔の暮らしを体験しよう」で、本物の土器や石器に触れたり、火起こしの体験を行ったりして、歴史学習を深めることを目的に、発掘調査と周辺遺跡の話と土器の分類・石器の試し切り・火起こしの3つの体験を行いました。

### 発掘調査と周辺遺跡の話



初めに埋蔵文化財センターの仕事について簡単に説明しました。将来、文化財を保護する仕事に就く子がいれbaughれしいと伝えました。次に、浜北小学校周辺には、岩地遺跡・玉城坊遺跡・天ヶ谷古墳・八幡平城跡など多くの遺跡があることを地図を見ながら話すと、意外に知らなかったため、子どもたちは驚いていました。



「小学校の周りにも、遺跡があって、土器が見つかるって聞いて驚きました。」

### 石器の試し切り体験



鉄器が伝わる前の時代に木を切ったり穴を掘ったりするとき、石を使うことを想像し、石を割ったり磨いたりした本物の石器を見て、古代人の暮らしの様子を思い浮かべ、黒曜石で新聞紙や野菜を試し切りしました。思いのほか切れて、驚いていました。



「よく切れてすごかった。黒曜石の産地は少ないのに、全国で使われているって聞き、交流があったことが分かったのもすごかった。」

### 土器の分類体験



縄文土器・弥生土器・須恵器の3つの完形土器に触れて、よく観察した後、各班にある3種類の土器片を分類しました。縄文土器の特徴をつかむことは比較的容易でしたが、弥生土器と須恵器の微妙な違いにはどの班も苦戦していました。



「分別は難しかったけれど、本物に触ることができて、おもしろかった。」

### 火起こし体験



火起こしをテレビの番組で観たことがある子どもたちも、やったことがなかったため、やり方を説明する段階で興味津々でした。短時間でしたが、3回も火を起こすことができた班もあり、驚きました。



### 先生方の感想

「写真資料やレプリカでの授業ではなく、本物に触れることができたことは、子どもたちにとって大きな学びと感動体験となりました。土器の分類や石器の体験をすることで、実物をよく見て、教科書でえた知識を再確認することができてとても良かったです。火起こしも、どの班も1度は火を起こすことができて満足感も大きかったです。センターの職員さんは、とても分かりやすく、いいな解説でありがたかったです。今回の体験を通して、もっと歴史に興味をもった子が多かったです。」

